



おにだ〜



認定こども園当別夢の国幼稚園（砂田敦子園長）で節分の会が行われました。

豆まきの歌を歌い終わると、太鼓の音が鳴り響き、金棒を手に赤鬼と青鬼が登場しました。あまりの迫力に泣き出す子が続出。しかしたくさんの豆を当てられ、最後に鬼は降参して逃げていきました。（2月1日）

今年の恵方は南南東！



町社会福祉協議会ボランティアセンターが主催する「ふれあい会食会」がオープンサロンで行われ、お年寄りと配食ボランティアのみなさんで、巨大恵方巻き作りに挑戦しました。

節分にその年の恵方に向けて食べると縁起が良いとされ、お米7kg、海苔60枚以上、約10種類の具を使い、直径9cmの恵方巻きができると「上手に巻けたね」と拍手がおこりました。今年の長さは3m86cmで、今年はなんと4m14cm！今年の恵方の南南東に向けてはおぼり、健康を祈りました。（2月1日）

冬の魅力はどこに？



町の新たな魅力を発見しようと「冬の景観を楽しむ」ことをテーマにセミナーが開催されました。

講師で酪農学園大学教授の小川巖氏からは「冬は山林などでも歩くことができ、夏には見えない景色や動物の営みを発見することができます。」と説明があり、参加者は町内の景観スポットが記載された地図に、24日に予定されている第2回目に歩くコースのアイデアを出し合っていました。

5つのグループの発表を参考に、スウェーデンヒルズゴルフクラブ内の約3kmをコースに選びました。（2月7日）

広告

広告

広告

広告

防火意識とボランティア



西町少年消防クラブ（藤原徹幹 会長、会員 61 名）が西町にある 消火栓と高齢者のお宅の除雪を行 いました。

同クラブは防火意識の高揚とボ ランティア精神育成のため設立さ れ、今回は小中学生 24 名が参加 しました。子ども達は家から持ち 寄ったスコップを手に、西町会館 に集合。消火栓 10 基の除雪とお 年寄り宅の除雪の 3 班に分かれ て作業しました。玄関先の雪を取 り除くと、お年寄りからは「あり がたいね。風邪をひかないでね。」 と声をかけられていました。

(2 月 9 日)

亜麻が大きく実り・・・



当別町亜麻生産組合（大塚利明 組合長）が「わが村は美しく - 北 海道」運動で奨励賞を受賞しまし た。

同生産組合は、一度は消滅した 亜麻生産の復活と同時に、平成 20 年から「亜麻まつり」を開催し、 写真コンクールなどで亜麻を広く 紹介。都市と農村の交流を深めた ことが高く評価されました。大塚 組合長は「栽培技術が忘れられた 中でのスタート。収量の拡大が農 業者としての大きな目標になっ たが、生産から加工、販売までがルー トが確立し、達成感があった。」 と語りました。

(2 月 15 日)

